建築用製材がお手もとに届くまで

山から切り出された木材を、のこで一定の寸法に加工したものを『製材』といいます。
住宅に用いられる製材には、さまざまな寸法、名称があり、日本農林規格（JAS）によって品質、強度が保証されています。

【森林】
北海道の建築用材はエゾマツ・トドマツが主流ですが、最近は、カラマツを建築用材とする取組みが、各地で積極的に進められています。

【原木土場】
丸太を樹種や径級でより分けます。

【製材工場】
用途に合わせ、のこで一定の寸法に切ります。

【ＪＡＳ格付及び結束】
ＪＡＳに基づく検査、表示を行い出荷されます。

【建築現場】
住宅に用いられる製材は、さまざまな寸法があり、また使用する部位ごとにそれぞれ名称がつけられています。